

# NIC

## TOPICS | JANUARY 2021

- |                  |             |                       |
|------------------|-------------|-----------------------|
| innovation       | sustainable | efficiency            |
| project          | prototyping | serendipity           |
| happy work place | playful     | creating shared value |
| collaboration    | coworking   | diversity             |
| solution         | network     | exciting              |
| open laboratory  | fail fast   | heart to heart        |

# 3<sup>rd</sup>

anniversary



## 新しいNICが始まる 江守社長インタビューから

2020年はNICにとっても激動の年であり、3月の自身の新型コロナウイルス感染により様相が一変しました。ロックダウン・来訪の途絶・会話のない食事などNICの活気は一時失われました。それでも社員の自主的な工夫から、リモート交歓会・社内報・3密を避ける活動・感染予防の出張教室など心温まる交流も生まれています。BAZAAR 2.0 Heart to Heartで培った信頼から、お客様とも距離を超えた繋がりができています。オープンから3年が経ち、社長直轄で進めてきたイノベーション推進部門は発展的に解消しますが、NICの精神と役割は不変であり、ニューノーマルへの適応力、場の持つ求心力を活かして次のステージへと力強く進化し、「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーションカンパニー」を目指します。



ニューノーマルな働き方。全社朝礼も部署ごとの持ち回り参加で、社内放送が活用されています。



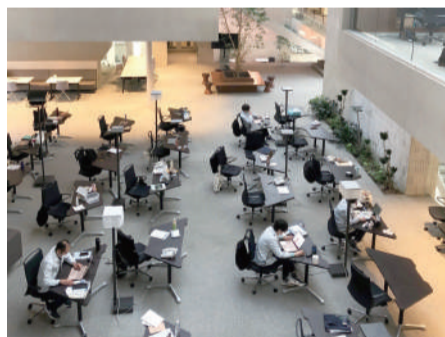
密を避けた食事風景。対面で会話をしないように徹底しています。

## コロナ禍でも、自在なオフィス空間

会議室は従来の定員の50%以下で使用、向かい合わせの机の中央には間仕切り、カフェテリアの配置を変え椅子の数も減らすといった対応。自由にレイアウトが変更できるNICだからこそ、withコロナにも柔軟に adapting しています。



NIC開所時のオフィスの風景。机の配置を自由にアレンジし、コミュニケーションをとっていました。



現在は、机を一定方向に向け、テレワークを活用しながら勤務しています。

## NICガーデンレクチャー

社員向け勉強会NICガーデンレクチャーは、オンラインツールTeamsを活用し、リアルとオンラインの融合で開催しました。遠隔地から講義する講師、支店や海外拠点からの参加など、エリアの枠を超えた交流ができるようになりました。



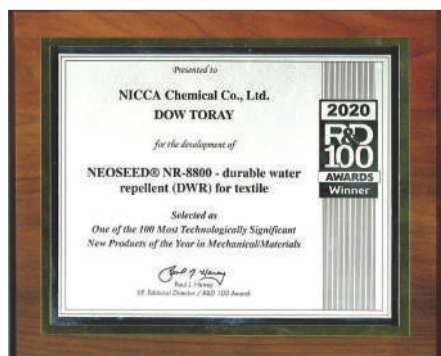
コロナ禍前のレクチャーでは、一度に100人近くの社員がガーデンスクエアに集まり、聴講することもありました。



withコロナでのレクチャーは、オンラインを活用することで、より多くの社員が聴講できるようになりました。

## フッ素フリー系撥水剤がR&D100賞を受賞

R&D 100 Awardsは、米国のR&Dマガジン社が過去1年間に実用化された世界で優秀な製品・技術100件を選出するものです。日華化学とダウ社が共同開発し繊維加工用のシリコン系撥水剤「NEOSEED NR-8800」が、環境にやさしく優れた撥水性・柔軟性・耐久性を有すると評価され受賞しました。



## 駐日ハンガリー全権大使来訪

11月7日、バラノビッチ・ノルバートハンガリー駐日全権大使が、二等書記官、JETROの方々と一緒に来社し、江守社長と面談しました。ノルバート大使は、名古屋大学で博士号を取得されており、日本語も極めて堪能で、NICを大変興味深く見学されました。



## XSCHOOL 発表会

福井市が主宰する事業創造プログラムXSCHOOLの最終発表会が、2月に約200名の参加者を集め、NICで開催されました。120日間のワークショップには、当社からもパートナー企業として3名が参加し、「未来の土着」をテーマとしてプロジェクト活動を行いました。



約半年間取り組んだ成果を発表。専門家の視点から講評をいただき、更なる活動に活かしていきます。



発表後には、実際に作ったプロトタイプを参加者に説明。新たな出会いも生まれました。

## 出張手洗い講座

近隣の福井市春山小学校の3年生以上9クラスを対象に、感染防止の手洗い講座や実験教室、キャリア教育を実施しました。グループ単位で行った実験では、大きな歓声も起こりました。

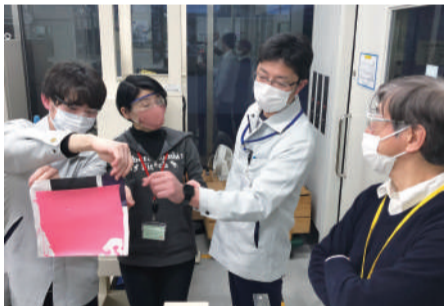


手洗いチェッカーローション、UVライトを使い、児童のみなさんが、手洗い苦手ポイントを確認しました。



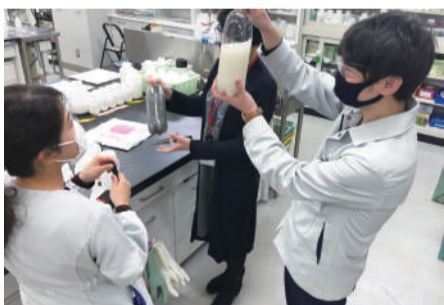
起泡・消泡・撥水の実験を行い、このような薬剤が暮らしの中で身近に使われていることを説明しました。

## MO-SO活動の展開

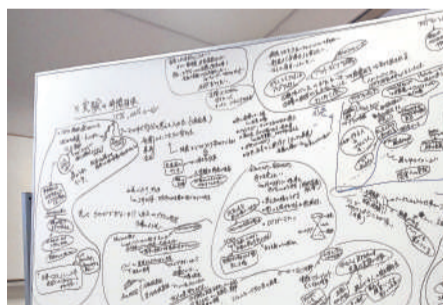


一度使われた布を、日華化学の薬剤で面白いものに変えられないか？ いくつものプロトタイプをつくりました。

2019年にスタートしたMO-SOミーティングは、妄想をふくらませたモノづくりに自発的に取り組む、部活動のようなものです。繊維製品のアップサイクルや伝統工芸とのコラボ、実験教室のブラッシュアップなどいくつかのチームに分かれて活動を続けています。



日華化学を身近に感じて欲しいという思いから、暮らしに役立つものをテーマにした実験が出来ないか？ 考え中です。



活動2年目。どういった活動をしていくか？メンバーの想いは？ まだまだ熱かったです。

## NIC アートギャラリー



古木氏のコアガラス作品「番合・宵桜(よいのさくら)」。



若林氏のスクラッチアート作品「飛ぶ(薫風)」。

福井にゆかりがある様々な分野のアーティストを支援しながら、NICに訪れるお客様や社員に新鮮な驚きと好奇心の種を毎回提供するギャラリー。2020年は、メソポタミアの古代技法コアガラス作家の古木晶子さん(左)と、下地を削り出して表現するスクラッチアートの若林朋美さん(右)の作品を展示しました。

## 第6回ファミリーデー

11月15日、第6回ファミリーデーが開催され、24家族74名が参加しました。NICの見学に加えフェルトソープ作り体験コーナーや、手洗いチェックコーナーも設け、3密対策をとりながら楽しく実施しました。



石けんをフェルトでくるむフェルトソープ。肌触りと泡立ちがよくなります。



日華化学のハンドソープで手洗い後、UVランプを使って洗えていないところのチェックを行いました。

## オンラインレクチャーの収録・配信

ふくい産業支援センターが主催する“DESIGN CONNECT”の第2回講師としてNICを建築・設計した小堀哲夫氏が登壇し、NICのオープンフロアから「価値の創造とコミュニティ」をテーマとする講義と、当社社員も参加したトークセッションを行いました。収録した内容はオンラインで配信されました。



感染症対策を徹底し、スピーカー同士の間隔をあけて撮影を行いました。



小堀氏はwithコロナになり、改めてオフィスの在り方を考えたこと、またこれからのオフィスについての提案を話されました。

## NICCAつながりプロジェクト



スタート時は、ホワイトボードを囲みながら年度計画をワイワイガヤガヤ話していました。

3期目を迎えたNICCAつながりプロジェクトは、予想していなかった事態の中、リモートの活用で様々なイベントを実施しました。オンライン飲み会は、部門、年代を超え、さらに海外にまで活動の輪を広げました。“THANX RING,”(サンクスリング)という、ありがとうをリレー形式で伝える企画では予想を上回る参加者で盛り上がっています。



気軽に聞いてみたいこと、毎月のテーマに沿ったコメントをPOSTに投函。途中からはオンラインも導入しながら、多くのコメントをもらいました。



オンライン飲み会。新人から役員までの幅広い参加者が様々なテーマで話し合い、交流を深めました。

## Editor's note

2020年3月中旬から、コロナ禍は現実のものとなり、約3週間のNIC閉鎖の後4・5月は来訪者もゼロとなりました。前例のない事態に最初は戸惑いもありましたが、NICは新常态の環境にいち早く適応して進化を遂げました。社員が自発的に働く場を変えてゆく頼もしい状況がありました。これまで培ってきたBAZAAR 2.0の心のコミュニケーションの力を実感

することができました。ピンチに強い日華化学の伝統が発揮されています。第3号は紙面を縮小しましたが、この激動の1年の貴重な活動記録です。(M.M.)

 日華化学株式会社

910-8670 福井県福井市文京 4-23-1 TEL.0776-24-0213(代)  
NICCA / www.nicca.co.jp NIC / nic.niccachemical.com

